



## 「あやせ家庭読書・ふれあいの日」 ～あやせゼロの日運動～ アンケート結果

【令和6年度調査】

### 1 調査概要

平成24年5月に、家庭での読書・ふれあいを推進するためスタートした「あやせゼロの日運動」について、各家庭の実施状況を調査するとともに、今後の運動の参考とするため、令和4年度に引き続き小・中学生、保育所・幼稚園児をもつ家庭を対象にアンケートを実施しました。

### 2 実施期間

・令和6年12月2日(月)～令和6年12月19日(木)

### 3 調査基準

・令和6年11月の実施状況を調査

### 4 回答者

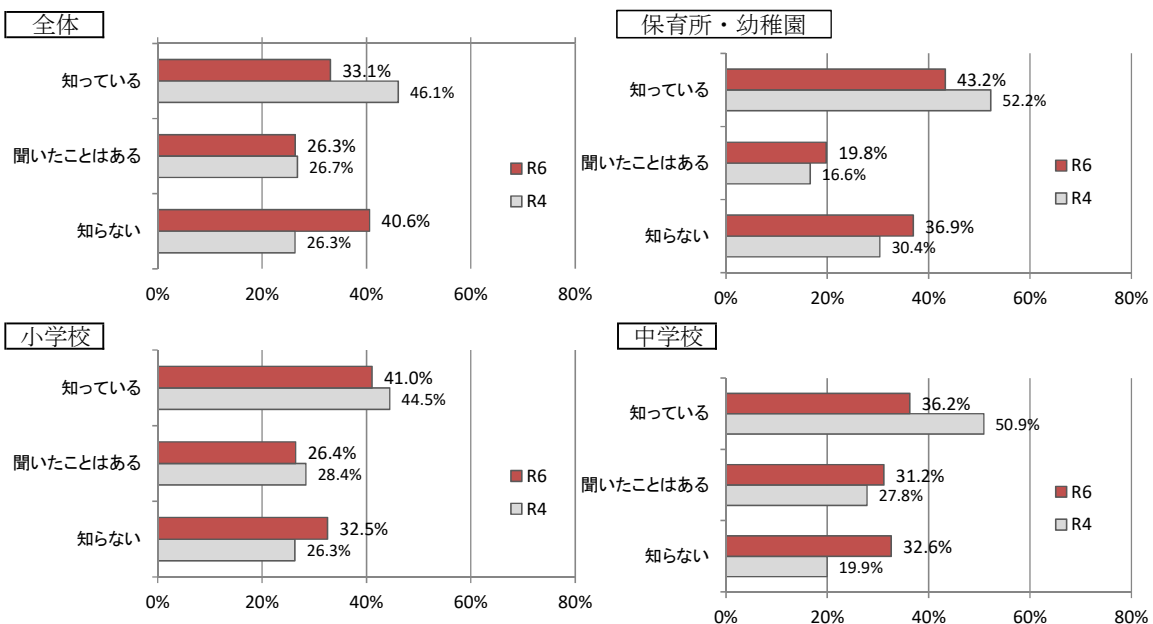
- ・保育所14園、幼稚園9園(保護者) : 222人
- ・小学校10校(1～6年生) : 1,362人  
※小学校1年生は保護者が回答
- ・中学校5校(1・2年生) : 276人  
※各学年1クラスを抽出

合 計: 1,860人

綾瀬市役所 市民環境部 生涯学習課 生涯学習担当 電話0467(70)5658

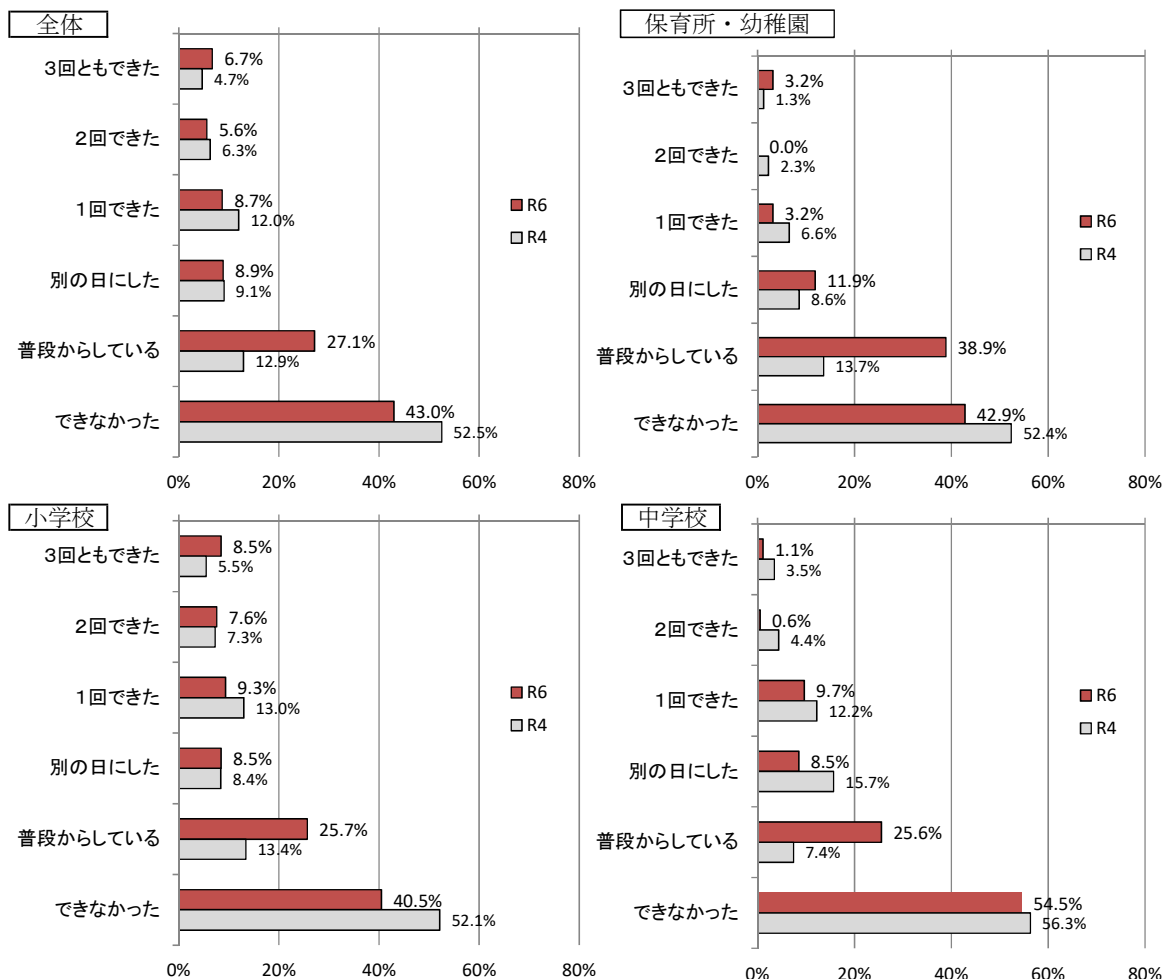
問1

毎月ゼロのつく日(10日・20日・30日)が「おうちの人といっしょに読書やおしゃべりをして過ごす日」ということを知っていますか。



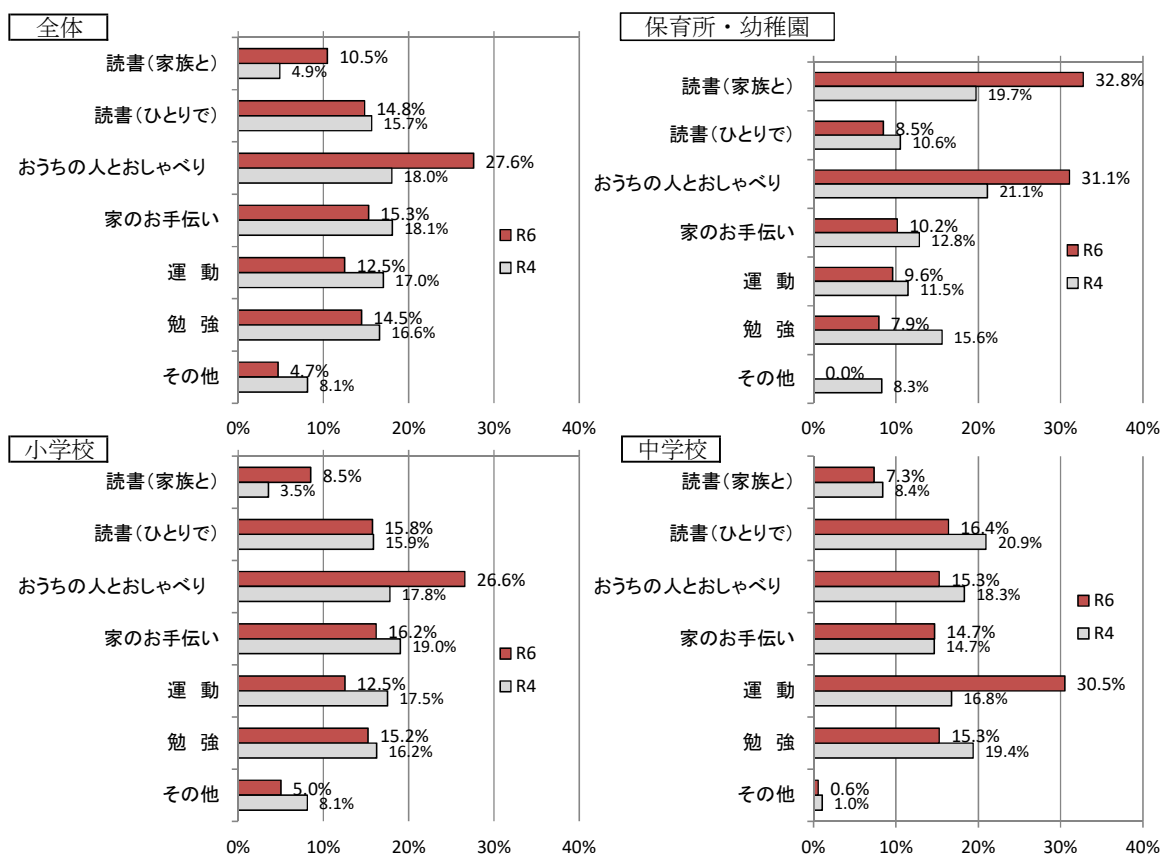
問2

先月の10日・20日・30日は、いつもよりおうちの人と本を読んだりおしゃべりしたりするなど、取り組みましたか。



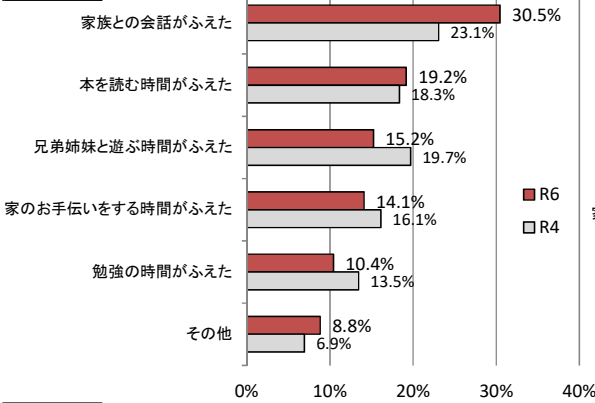
問3

その日は、どのように過ごしましたか。(複数回答)※問2「できなかった」以外を選択した方のみ回答

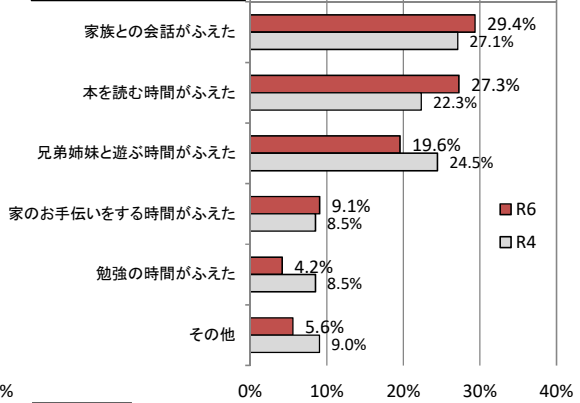


**問4** その日の感想はどうでしたか。(複数回答)※問2「できなかった」以外を選択した方のみ回答

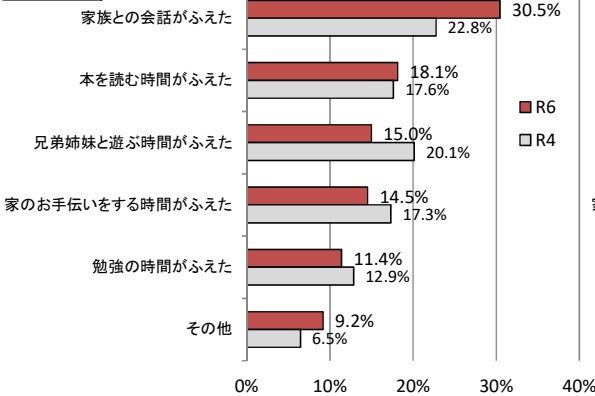
**全体**



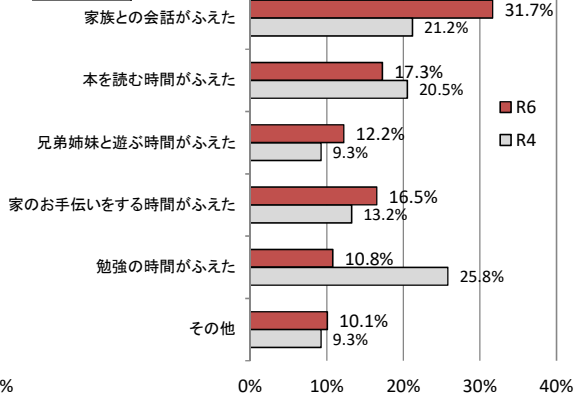
**保育所・幼稚園**



**小学校**

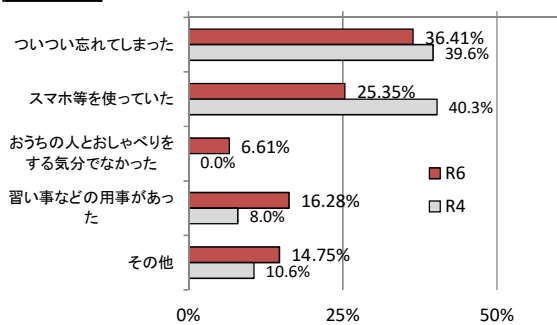


**中学校**

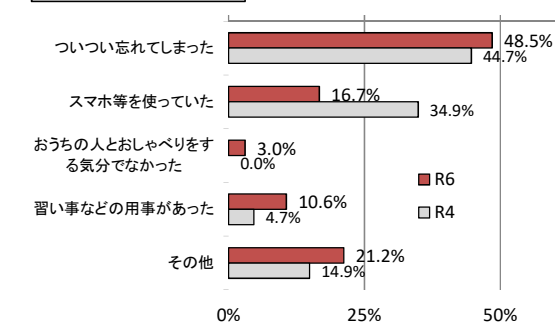


**問5** できなかった理由は何ですか。(複数回答)  
 ※問2の「できなかった」を選んだ方のみ回答  
 ※選択肢「おうちの人とおしゃべりをする気分でなかった」は令和6年度の調査から追加したため、令和4年度の回答数は0

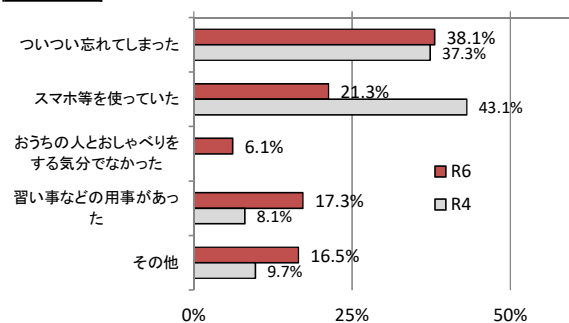
**全体**



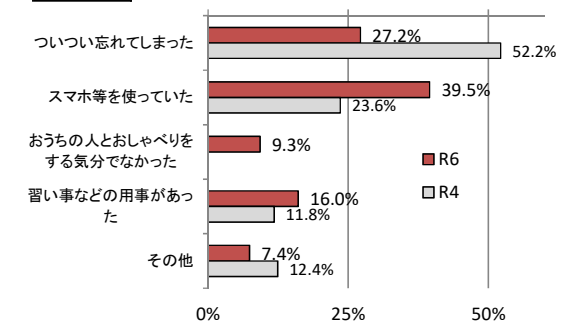
**保育所・幼稚園**



**小学校**

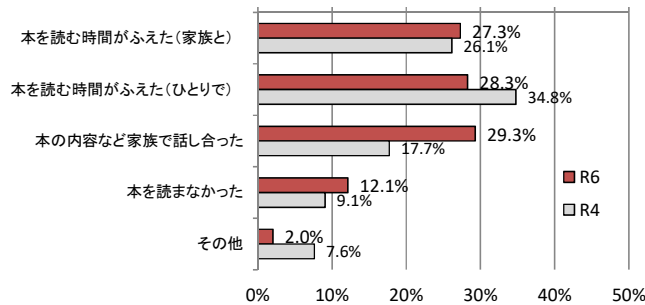


**中学校**

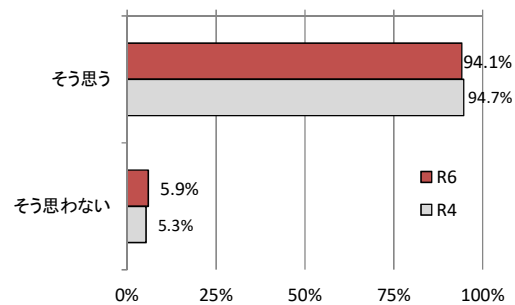


## 問6・問7(小学校1年生のみ回答)

|    |                                              |
|----|----------------------------------------------|
| 問6 | セカンドブック事業で、7月に学校を通じて絵本を配付しましたが、どうでしたか。(複数回答) |
|----|----------------------------------------------|



|    |                              |
|----|------------------------------|
| 問7 | セカンドブック事業は今後も続けたほうが良いと思いますか。 |
|----|------------------------------|



※ 「セカンドブック事業」は新小学1年生全員に絵本をプレゼントすることで、親子で本に親しむ機会や子どもたち自身が本に出会う機会の提供を行う事業です。

※ グラフには未掲載ですが、無回答も含めて集計しています。

※ 四捨五入の結果、合計が100%にならない場合があります。

### アンケート結果(令和6年度)から得られた課題と方向性

#### ・認知度の減少

本運動を「知っている」「聞いたことがある」と回答した割合は全体で59.4%。

令和4年度と比較して、約13%減少しました。

⇒これは令和6年度の運動名称・愛称の一部変更によって減少したものと思われます。

#### ・実施率(本運動を「知っている」且つ「月1回以上取り組んでいる」と回答した割合)の向上

本運動に「月1回以上取り組んでいる」と回答した割合は約57%。

令和4年度と比較して、12%増加しました。

⇒令和6年度の運動名称・愛称の一部変更時に「テレビやゲームも家庭でのコミュニケーションのツールとなりうる」と整理したことにより、増加したものと思われます。

#### ・中学生のスマートフォンの使用の増加

運動に取り組めなかった理由として「スマホ等を使っていた」と回答した中学生の割合は39.5%であり、令和4年度と比較して約16%増加しました。

⇒友人との交流等での必要性も高まり、魅力的なコンテンツも豊富ではありますが、家庭での読書やふれあいの機会の減少につながるため、今後スマートフォンの付き合い方についても改めて課題として認識する必要があります。

#### ・セカンドブック事業(新小学1年生を対象に実施している配本事業)の効果

絵本の配布を行うことによって、約85%の家庭で家族やひとりで本を読む時間や話し合う時間が増えたとの回答がありました。

今後も、市では「あやせ家庭読書・ふれあいの日～あやせゼロの日運動～」について、ご家庭で取り組んでいただけるよう、保護者の方に積極的に呼びかけてまいりたいと思います。

また、本運動の啓発を通して、子どもの読書の習慣づけや親子のふれあいの機会づくりを推進するとともに、より一層、子どもたちの豊かな心と成長に望ましい生活習慣の定着を目指してまいります。

## あやせ家庭読書・ふれあいの日 ～あやせゼロの日運動～



毎月ゼロのつく日(10日・20日・30日)は、  
子どもと一緒に本を読んだり、いつもより多く遊びや会話を楽しんだりして、  
子どもの心を成長させるひとときを過ごしましょう!